

学校関係者評価に基づく自己評価及び考察

番号	評価項目	教職員	生徒	保護者	地域	平均値	自己評価	評議員評価	考察 (◆は改善に向けた今後の方向性)
1	あいさつのできる生徒の育成に努めているか。	3.8	3.7	3.7	3.6	3.7	A	A	○ 概ね高い評価であるが、昨年度より生徒・保護、教員は、0.1～0.3%上がっているが、地域からののが、0.3%下がっている。 ● 地域での元気の良いあいさつができていないのではないだろうかと考えられる。 ◆ 「全生徒による朝のあいさつ運動の継続」と「質の高いあいさつ」や「どこでも気持ちの良いあいさつ」ができるよう、学校全体で取り組んでいく。
2	学校や社会のきまりを守らせるよう努めているか。	3.7	3.8	3.6	/	3.7	A	A	○ 集会指導、常時指導や道徳の授業の充実を図っており、高い評価になっている。 ◆ 今後も集会指導、常時指導を継続し、より学校のきまりを意識させ、社会につなげていくとともに、道徳の授業などの更なる充実を図り、道徳心を育成する。
3	いじめや差別のない楽しい学校生活を送れるよう努めているか。	3.6	3.8	3.6	3.6	3.7	A	A	○ 概ね高い評価であり。 ◆ 今後も主に学級活動でソーシャル・スキルやピア・サポート等の取組を継続していき、「互いを認め合い、個性を尊重できる人間関係」を構築していく。
4	意欲的に授業に取り組ませ、学力向上に努めているか。	3.5	3.2	3.6	/	3.4	B	B	○ 一昨年度からは三者とも0.4～0.5%上がっていたが、本年度は、昨年度と比べ変化がなく、以前、生徒の評価が一番低く、実感として表れていない。 ◆ 昨年度から、主題研究で「分かる・できる」の研究を進めており、今後もタブレット端末を活用しながら、生徒が「分かった・できた」と実感できるような授業を目指していく。
5	目標をもって部活動に取り組ませ、部活動での学びが日頃の生活に役立つよう努めているか。	3.5	3.9	3.6	3.2	3.6	A	A	○ 概ね高い評価である。 ◆ 今後も学校として、保護者に対し部活動の意義等についての理解をしていただくとともに、地域型スポーツへの移行も説明していきながら、学校と家庭と地域が協力して活動に取り組んでいく。
6	家庭学習の充実に努めているか。	3.4	3.6	3.3	/	3.4	B	B	○ 生徒は、昨年度と比べ、0.1%上がっているが、保護者、教職員の評価が若干低く、生徒との間に開きが見られる。 ◆ 家庭での学習の大切さや意義を保護者に伝え、共通理解しながら、タブレット端末を活用し、生徒の実態に応じた支援をする。
7	弁当の日に積極的に取り組むことができるよう努めているか。	/	3.6	3.1	/	3.4	B	B	○ 保護者と生徒の評価に差が見られ、保護者の評価は昨年度と比べ、更に0.1%下がっている。保護者のアンケートからも、年3回の回数等の検討してほしいとの声もある。 ◆ 生徒は意欲的に取り組んでいる生徒も多くいる。「15の春」＝自立という観点からも、保護者へ理解していただけるよう努めていく。また、回数については、教育課程編成で検討していく。
8	たくましく生きる力が身に付くよう努めているか。	3.5	3.4	3.3	/	3.4	B	B	○ 昨年度の評価と変化がなく、保護者の評価が低い。 ◆ 「15の春」を迎えた時の姿を学校、家庭、地域が共通理解した上で、生徒自身に自信を持って生活ができるよう学校の教育活動全体を通して支援していく。また、困難に直面した場合に、自己解決できる能力の育成に努めていく。
9	学校の情報などを分かりやすく伝えるよう努めているか。	3.8	/	3.6	3.4	3.6	A	A	○ 学校、保護者については、高い評価であるが、地域の評価が低い。(昨年より0.1%上がっている。)コロナ禍により、人数制限で学校行事に参加できていない面が評価に出ていると思われる。 ◆ 各学校行事等で、コロナの状況を見据えながら、できるだけ制限を解除し、地域の方が学校へ来ていただけるよう努めていく。また、学校便りを回覧板や役場への掲示、各担当からの各種便りの発行、HPの更新を継続して行っていく。

- 評価については、4＝そう思う 3＝だいたいそう思う 2＝あまりそう思わない 1＝そう思わない の4段階で評価している。
- 自己評価及び学校運営協議会委員評価については、A・B・C の3段階で評価している。
- 生徒の評価については、各評価項目について、「自分ができているかいないか」の基準で評価している。
- 評価項目の斜線(／)は、対象者が当該項目の評価を実施していないことを意味する。